

〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル英単語帳 〕

1 I [アイ]

代 私は、私が (「ぼくは、ぼくが」も可)

同音語 : eye (目)

※ 文中でも必ず大文字で使う。
 ※ 他の代名詞と一緒に使うときは
 ~ and **I** のように表す。

☆ かんたん英文法【短縮形】も参照のこと。

I am [I'm] a student. 『私は(1人の)学生です。』**I** like baseball very much. 『私は野球がとても好きです。』Emi and **I** are good friends. 『エミと私は仲が良い(友達です)。』Are you Tom? → Yes, **I** am.

『あなたはトムですか?』『はい、そうです。』

Do you play tennis every day? → Yes, **I** do.

『あなたは毎日テニスをしますか?』『はい、します。』

2 you [ユー]

代 あなた(たち)は、あなた(たち)が <<主格>>
あなた(たち)を、あなた(たち)に <<目的格>>

※ **you** の訳し方には、『あなた』と
 『あなたたち』の2つの訳し方がある。
 文中の名詞の形(単数形か複数形か)や
 文脈・状況でふつつ判断ができる。

You are a teacher. 『あなたは(1人の)先生です。』**You** are teachers. 『あなたたちは先生(たち)です。』I like **you**. 『私はあなたが好きです。』This is a present for **you**. 『これはあなたへの贈り物です。』I'll show **you my notebook** [my notebook to **you**].

『私はあなたに私のノートを見せるつもりです。』

※ かんたん英文法【第3文型と第4文型】も参照のこと。

3 he [ヒー]

He is my friend. 『彼は私の友達です。』

代 彼は、彼が (⇔ she)

※ この英文だと、「友達が1人だけ」という印象を持たれるので、実際には

He is a friend of mine. 『彼は私の一友人です。』のほうがふつう。Is **he** a doctor? 『彼は(1人の)医者ですか?』 → Yes, **he** is. 『はい、そうです。』**He** has two dogs. 『彼は2匹の犬を[犬を2匹]飼っています。』

4 she [シー]

代 彼女は、彼女が (⇔ he)

she の発音は、動物などを追い払うときの
 「シッシ」の「シッ」をのばした音。

アルファベットの C、sea(海)、see(見る)
 の発音は[スィー]なので、**she** とは異なる。

She is busy now. 『彼女は今忙しいです。』Is **she** tall? 『彼女は背が高いですか?』→ No, **she is not** [isn't]. 『いいえ、そうではありません。』**She** studies math every day. 『彼女は毎日数学を勉強します。』Does **she** speak English? 『彼女は英語を話しますか?』→ Yes, **she** does. 『はい、話します。』

5 and [アンド]

接 ~と…、そして

<<命令文、**and** … の形で>>
 (～しなさい。) そうすれば…

<<比較級 **and** 比較級で>>
 だんだん～、ますます～

And you? 『あなたは?』
 = How about you?
 『あなたはどうかですか?』
 ～, **and** so on 『～など』
and then 『そして、それから』

you **and** I 『あなたと私』 / Tom, Meg **and** I 『トムとメグと私』※ 「～と私」「私と～」 → ~ **and** I と表現する。※ 3者以上を並べるときは、A, B **and** C のように言う。Four **and** three make(s) seven. 『4足す3は7。』 (4 + 3 = 7)He went to the library **and** (he) read some books (there).

『彼は図書館へ行き、そして(彼はそこで)本を何冊か読みました。』

※ 3単現のsがないので、このreadは過去形。発音は[れッド]。

Come **and** [to] see me tomorrow. 『明日私に会いに来て。』Hurry up, **and** you will catch the train.

『急ぎなさい。そうすればその電車に間に合うでしょう。』

It became colder **and** colder. 『だんだん寒くなりました。』

〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル英単語帳 〕

6 a [ア]

冠 1つの、1人の
~につき

- ※ 数えられる名詞の単数形の前に使う。
- ※ 『1つの』、『1人の』と必ずしも日本語に訳すわけではなく、自然な日本語訳にすればよい。
- ※ 『1つの』、『1人の』という意味を特に強調するときには one を使う。

a friend of mine
『私の一(いち)友人』
once [twice] a week [year]
『週[年]に1回[2回]』

a dog 『1匹の犬』 / a box 『1つの箱』

a big ball 『1つの大きいボール』 / a good book 『1冊の良い本』
※ 名詞の前に形容詞がつくときには、形容詞の前に a をつける。

This is a bike. 『これは(1台の)自転車です。』

- ※ a は不特定のものを表すので、特定のものを表す語 (my, your, this, that など) といっしょには使えない。
- 例えば、私の本が1冊ある場合、a と my をいっしょには使うことができないので、a book または my book のどちらかで表現する。
- … book に複数形の s がついていなければ、本は1冊であるとわかる。

Tom is a friend of mine. 『トムは私の一友人です。』

- ※ Tom is my friend. だと「友達が1人だけ」という印象を持たれる。

We have three meals a day. 『私たちは日に3回食事をします。』

- ※ meal [ミール]「食事」→【単語帳 No. 1033】

7 an [アン]

冠 1つの、1人の、~につき

- ※ 語頭が母音(ア・イ・ウ・エ・オ)の音で始まる数えられる名詞の前に使う。(母音の前では a[ア]を発音しにくいいため、発音上の理由からできた語)

an apple 『1つのりんご』 / an orange 『1つのオレンジ』

an old book 『1冊の古い本』 /

an easy question 『1つの簡単な質問』

- ※ a と an のどちらを使うかは、うしろの語の語頭の発音によって判断する。
- ※ 直後の語頭の発音で判断するので、形容詞の場合でも an になる。
- ※ an を読むときには、後ろの母音とつながって読まれることが多い。

an egg [アネッグ] / an old man [アノールドゥ マーン]

a uniform 『1着の制服』… uniform は [ユニフォーム] と発音するので語頭の音が子音。よって a を使う。
for an hour 『1時間』… hour は [アウア] と発音するので語頭の音が母音。よって an を使う。(かわりに one も可)

8 this [ザイス] (⇔ that)

代 これ、こちら、この人

形 この、今日の、今度の

- ※ this と is には短縮形がない。
- 比較 →【単語帳 No.9… that】

☆ 複数形は these …【単語帳 No.158】

this morning 『今朝』
this afternoon 『今日の午後』
this evening 『今日の夕方[晩]』
※ today's ~ とは言わない。
※「今夜」は tonight と言う。

this week 『今週』
this weekend 『今週末』
this month 『今月』
this year 『今年』
this time 『今回、今度』
this summer 『今年の夏』

This is my book. 『これは私の本です。』

Meg, this is Ken. 『メグ、こちら[この人]はケンです。』

- ※ This is ~. には、近くにあるものを指す「これは～です。」の意味と、人を紹介するときを使う「この人[こちら]は～です。」の意味がある。

What's this? 『これは何ですか?』 ※ 文末を下げ調子で読む。

→ It's a box. 『それは(1つの)箱です。』

- ※ this や that が指すものは、2回目からは代名詞 it であらわす。
- 詳しくは、かんたん英文法【代名詞】を参照のこと。

Who's this (, please)? 『どちら様ですか?』【電話での会話】

→ Hello. This is Mike (speaking). ※ I am ~ とは言わない。
『もしもし。こちらはマイクです。』

Look at this picture. 『この絵[写真]を見なさい。』

This book is mine. 『この本は私のものです。』

- ※ this や that と、a, the, my, yourなどを前後していっしょには使えない。(例えば、this my ~ や your this ~ などの表現は間違いである。)
- 『私のこの本[この私の本]』とりたいときには this book of mine と言う。

[英語ブロック [重要ランク順] オリジナル英単語帳]

9 that [ざあツト]

- 代 ① あれ、それ、あちら、あの人 (⇔ this)
- ② 【関係代名詞】…である[する]ところの
- ③ <that of ~> ~のそれ

※ that of ~ は前出の「the + 名詞」の繰り返しを避けるために使う表現。

※ that is の短縮形 → that's [ざあツツ]

☆ 複数形は those …【単語帳 No.160】

形 あの (⇔ this) …「その」と訳すこともある

接 ~ということ【省略することができる】

<so ~ that …で> とても~なので…

this … 話し手の近くにあるものや人を指す。

that … 離れた場所にあるものやいる人、すでに話題になっていることを指す。

<< it(それ) とのちがい >>

it … すでに話題になった前出の名詞を指す。

it に人やものを指し示す用法はないので、「それは何ですか?」と質問するときには、What's that? となる。(it は使わない)

<< 時制の一致 >> (接続詞) の用法での注意

that の直前の動詞が過去形

→ 後ろの文の時制も過去になる。

例 右の Meg hoped (that) ~ の文。

☆ 詳しくはかんたん英文法【接続詞】参照。

※ 関係代名詞については、【単語帳 No.141 … who】【No.159 … which】も参照のこと。

That is my ball. 『あれは私のボールです。』

What's that? 『あれは何ですか?』

→ It's a box. 『それは(1つの)箱です。』

That's right. 『その通りです。』 ※ right は「正しい」の意味

I'm glad to hear that. 『私はそれを聞いてうれしいです。』

What does that mean? 『それはどういう意味ですか?』

I have a dog that [which] runs very fast.

『私はとても速く走る犬を飼っています。』

Meg is the only student that can speak French.

『メグはフランス語を話せる唯一の生徒です。』

※ 先行詞に、形容詞の最上級や、only, first, last, all, every, no などの語がついているときは、関係代名詞は that を使う。このことを【that の特別用法】と言う。

→ くわしくは かんたん英文法【関係代名詞】参照。

I don't know that girl. 『私はあの女の子を知りません。』

I like this book better than that one.

『私はあれ[あの本]よりもこの本が好きです。』

※ one は前出の名詞(と同等物)の繰り返しを避けるために使う語。it とのちがいについては【単語帳 No. 41 … one】を参照。

I know (that) Tom is kind.

『私はトムが親切だ(ということ)を知っています。』

Meg hoped (that) she could meet him again.

『メグは彼にまた会えることを望みました。』

I was so busy that I couldn't eat lunch.

『私はとても忙しかったので、昼食を食べられなかった。』

※ too ~ to … 「~すぎて…できない」→ 【No. 29 … too】

10 the [子音の前… ざ、母音の前… ザィ]

冠 その【訳さないことも多い】

※ the にはいろいろな用法がある。

例 天体・方角・時など、世の中に1つしかないものにつける用法 / 序数の前につける用法 / 形容詞・副詞の最上級の前につける用法など。

the … << 特定のもの、限定できるもの >> などの名詞の前に使う。たとえば話題になっているものや、状況からどれを指すのかわかる場合など。

I like the dog very much. 『私はその犬がとても好きです。』

※ 特定を表す語(my, this など)といっしょに前後しては使えない。

He is the tallest in my class. 『彼は私のクラスでいちばん背が高い。』

※ 形容詞・副詞の最上級形の前には the をつける。→ かんたん英文法【比較級】

<< ふつう the をつけない表現 >>

go to school 「学校へ行く」

go to bed 「寝る」

その場所へ本来の目的のために行くときには the をつけない。

ちなみに、go to the sea は「海に行く」という意味だが、go to sea は海へ行く本来の目的とされる「船乗りになる、航海に出る」の意味になる。

play the piano [guitar] 『ピアノ[ギター]を演奏する[弾く]』

※ 楽器名の前には the をつける。

the north 『北』 / the sun 『太陽』 / in the morning 『朝[午前中]に』

the Tone [Shinano] 『利根川[信濃川]』 / the [ザィ] Alps 『アルプス山脈』

March 1 『3月1日』… 日付は (the) first のように読む。(the は省略可)